

問題の発見・分析 ～数値データとグラフ化～

情報の科学 第23回授業

03問題解決

対応データ 17exp23.xls

数値を「見やすく」する

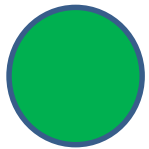
☆集めたデータは、表形式にしておくと、集計や分析、グラフ化が簡単にでき、見やすくなる。

→ 見通しを持った作業を！



問1: ①→10人 ②→24人 ③→6人
問2: ①→16人 ②→14人 ③→10人

扱いにくい

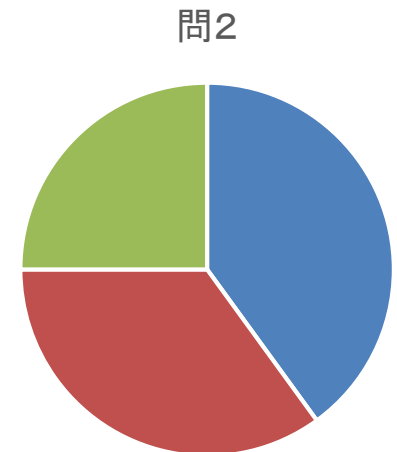


分析や、
処理が楽

ID	性別	問1	問2
1	男	1	3
2	男	2	1
3	女	1	1



回答	問2
①	16
②	14
③	10



■ ① ■ ② ■ ③

簡単に集計

グラフ化

グラフ化

- 数値を一目でわかるようにする
 - 移り変わりなどの変化
 - 大小などの比較
 - 複数項目のバランス
 - 2つの量の関係
- 表現したいことが伝えられるようなグラフを

演習

- ワークシートのデータをグラフ化してみよう

情報の特性(復習)

甘くはない

腐らない

食べられない

自分で作り出せる

実体がない

さわれない

減らない

コピーできる

形がない

あいまいな存在

なくなる

抽象的

見えない

無数に存在する

人から発信する

記号化できる

信用性がないときもある

速く運べる

メディアを使って
渡せる

ネットで伝えられる

読み取れる

お金がいるわけではない

すぐ手に入る

発生するもの

どこでも得られる

「形がない」: おなじ情報でも・・・

- 立場によって違う
 - 「立場」による情報の違い
- とらえ方によって違う
 - 「価値観」による情報の違い
- 時間によって違う
 - 「報道された時期」による情報の違い
- 切り取り方が違う
 - 「意図的」な情報、受け手を意識した情報

実習1「情報比較分析」(10分)

- 同じニュースを報じている、複数のサイトを比較してみよう
- 何が違うかを確認してみよう
 - 文字の量、写真の有無、数字、語調、報道時刻、内容、想定されている相手……
- その違いはなぜ起きているのか、4W1Hを参考に具体的に考えよう

※このあと全員発表をします。しっかり書こう！

発表

- 1人あたり1分。以下の要領で
2つのサイトを見せながら、
 - 私は、…のニュースに着目し、「A」というサイトと「B」というサイトを比較しました。
 - 「A」のサイトでは、…に対して、「B」のサイトでは…となっています。
 - これは、…という理由だと思えます。
- 4人グループで、出席番号の小さい人から

偏った情報

- 誤報・ねつ造
- 印象操作
- 過度なバッシング
- レッテル貼り

どういう判断基準を持つか

- 「誰が」言っていることなのか
- 「最新」の情報なのか
- 「もっともらしい」ことなのか
- 「出所」がはっきりしているのか
-

これは、インターネットの世界でも同じ

「誰が」言っているのか

☆ドメイン名（復習）

ドメイン名：後ろから読んでいく

http://www.yahoo.co.jp/index.html

www → ホスト名
サーバーの名前

yahoo → 企業名
組織を表す
(例 fujitsu
machida-h)

co → 企業
属性を表す
(例 ed:学校
ac:大学等
ne:プロバイ
ダ)

jp → 日本

fr:フランス
kr:韓国
など

※他にもgTLD(.com など)や汎用JP(tokyo.jp など)の「属性」のないものがある

サイトの口コミ

- 価格.com(トピック集P.24)
- ステルスマーケティング

まとめ

- 情報は、「事実の一部」を切り取ったに過ぎない。
- ネットの情報をそのまま「鵜呑み」にするのは危険
- 情報の背景にある「想像力」を持つとともに、自分なりの、「情報を見極める目」と「判断基準」が大切
- 発信する場合は、「何を伝えたいのか」を明確にし、伝わりやすく工夫する